

公共事業環境配慮書

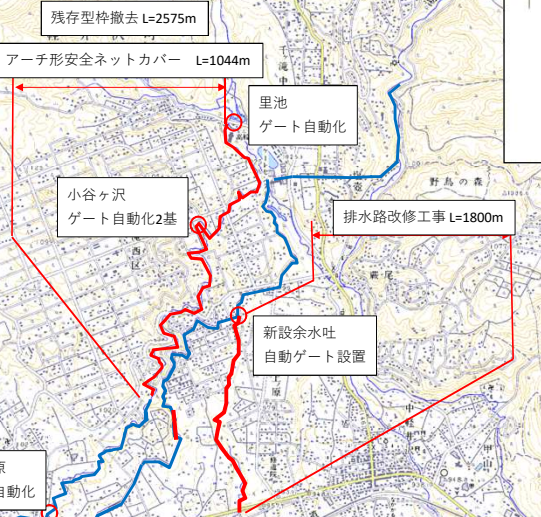
事業名称	
事業名	県営農村地域防災減災事業
整理番号	R3-2
事業の種類	かんがい排水施設の新設及び更新
市町村名	小諸市・佐久市・軽井沢町・御代田町
箇所名	御影用水地区
事業年度	令和2年度～令和6年度
事業概要	
目的	集中豪雨で大量に雨水が流入した際の排水ゲートの手動操作は、危険で大変な作業となっている。また、溢水被害等も発生しているため、排水路を整備し、流入水を円滑に排除することにより災害を防止したい。
計画概要(延長・幅員・面積・工種など)	用水路工 L=2,575m、排水路工 L=1,800m、ゲート自動化 N=6箇所
関連する事業計画	特になし
その他特記事項	特になし
関係法令等の規制	
自然環境保全地域等の指定状況	国立公園 普通地域
土地利用規制の状況	農地法の農地または採草放牧地 県景観条例の景観育成重点地域
その他	なし なし
社会的要素	
留意すべき地域の概況	
交通の現況	事業区域の南側に国道18号が通過している。
土地利用の現況	標高800m～1100mの平地林の地帯である。
生活関連施設の現況	周辺に別荘地がある。
その他	軽井沢町は、夏季工事自粛期間(7/25～8/31)を設け、期間中の工事を制限している。
自然的環境要素	
環境配慮の方針	
大気環境	留意すべき地域の概況 特になし
【大気汚染の防止】	
・排出ガス対策型の車両や機械を採用する。	
・資材等の運搬ルートは、居住系地域内の走行はできる限り避ける。	
【騒音、振動の防止】	
・低騒音・低振動型の建設機械を使用する。	
・夜間・早朝の資材運搬及び機械の稼働をできる限り避ける。	
水環境	留意すべき地域の概況 河川・湖沼に隣接する
【水質汚濁の防止】	
・沈砂池・沈澱池や濁水処理装置等を設置し、濁水や油脂類の排水を避ける。	
地形・地質	留意すべき地域の概況 黒色土である 山地である
【環境の保全上重要な地形・地質の改変の回避】	
・地すべり、崩壊、土石流等の危険性の高い地域や、近い将来活動する可能性のある活断層の区域の改変をできる限り避ける。	
・地域の特性を形成する重要な地形・地質の改変をできる限り避ける。	
【改変面積の最小化】	
・工事により一時的に改変する自然環境の原形復旧に努める。	
・地形の改変の少ない位置・ルート・工法を選定する。	
・工事施工ヤードの設置は、必要最小限の面積とする。	
野生動植物	留意すべき地域の概況 里山の地域である
【自然環境の保全上重要な地域の改変の回避】	
・自然性の高い地域や希少な動植物の生息・生育地等、自然環境の保全上重要な地域の改変をできる限り避ける。	
景観	留意すべき地域の概況 カラマツ林、湧水、浅間山噴石等による高原の里山景観が古くから形成され日本有数の別荘地エリアとして保全されている。
【すぐれた景観の保全】	
・工事箇所の整理整頓・美化に努め、仮施設や資材置き場は目立ちにくい配置にする。	
【良好な景観の育成】	
・周辺地域の環境との調和に配慮した施設の配置・規模・形態・意匠・色彩・素材等を検討する。	

廃棄物・ 建設残土	【建設廃棄物や建設残土の発生抑制】
	・建設副産物の発生を抑制する施設配置、線形、工法、資材などの採用に努める。
	・建設廃棄物や建設残土の適正処理を行う。
	【建設廃棄物や建設残土のリサイクル】
	・現場発生材の原位置リサイクル等、建設廃棄物や建設残土のリサイクルを推進する。
	【資源の有効利用】
	・使用基準等に留意の上、再生As合材、再生骨材、木材チップ、建設汚泥改良土等再生資材の利用を推進する。
省資源・ 省エネルギー・ 温室効果ガス	【環境への負荷の少ない機械の利用等】
	・低燃費型建設機械や省エネ機構搭載型建設機械を積極的に使用する。
	・アイドリングストップ、エンジン回転数の抑制等機械の省エネ運転に努める。
	・点検整備を行い適正な燃費消費率を維持する。

県営農村地域防災減災事業 御影用水地区 計画一般図

S=1:50,000

受益面積 A=466ha



工種	事業量
排水路改修	1800m
アーチ形安全ネットカバー	1044m
ゲート自動化	6基
残存型枠撤去工事	2575m

